

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

2018年3月期 第2四半期決算説明会

2017年11月17日

このプレゼンテーション資料には、2017年11月17日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変動等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。



決算の概要

第2四半期累計期間 連結業績(対期初予想比)

単位:百万円

	期初予想 (5/12開示)		18年3月期第2四半期累計		対期初予想比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	23,800	100.0	25,014	100.0	1,214	5.1
営業利益	5,900	24.8	6,341	25.4	441	7.5
経常利益	5,900	24.8	6,219	24.9	319	5.4
四半期純利益	3,400	14.3	3,704	14.8	304	9.0

※四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益の額を表示しております。

第2四半期累計期間 連結業績(対前年同期比)

単位:百万円

	17年3月期第2四半期累計		18年3月期第2四半期累計		対前年同期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	14,550	100.0	25,014	100.0	10,463	71.9
売上総利益	6,896	47.4	12,058	48.2	5,162	74.9
営業利益	3,978	27.3	6,341	25.4	2,363	59.4
経常利益	4,163	28.6	6,219	24.9	2,055	49.4
四半期純利益 ^{※1}	2,752	18.9	3,704	14.8	951	34.6
EPS (円)	30.05		40.44		10.39	34.6
設備投資額	1,671		3,128		1,457	87.2
減価償却費	817		1,252		434	53.2
研究開発費	671		714		42	6.3

※1 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益の額を表示しております。

※2 設備投資額は、有形及び無形固定資産取得額です。

第2四半期累計期間 主要グループ会社の業績

単位:百万円

	出資比率	売上高		当期純利益	
		金額	対前期 増減率(%)	金額	対前期 増減率(%)
	—	17,934	39.6	3,628	45.9
※2 ※5	100% (51%)	2,529	9.9	129	4.3
	100%	1,348	17.2	125	89.6
※3	100%	1,978	114.8	98	—
※4 ※6	74.7%	6,385	14.2	892	▲4.2

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

※2 平均為替レート 2016年1月～6月:1US\$ = 111.81円 2017年1月～6月:1US\$ = 112.37円

※3 平均為替レート 2016年1月～6月:1元 = 17.07円 2017年1月～6月:1元 = 16.39円

※4 平均為替レート 2016年1月～6月:1€ = 124.62円 2017年1月～6月:1€ = 121.64円

※5 米国子会社(連結)の当期純利益は、少数株主利益控除後の金額です。

※6 ハーモニック・ドライブ・アーゲーは単体決算の金額です。

第2四半期累計期間 単体業績

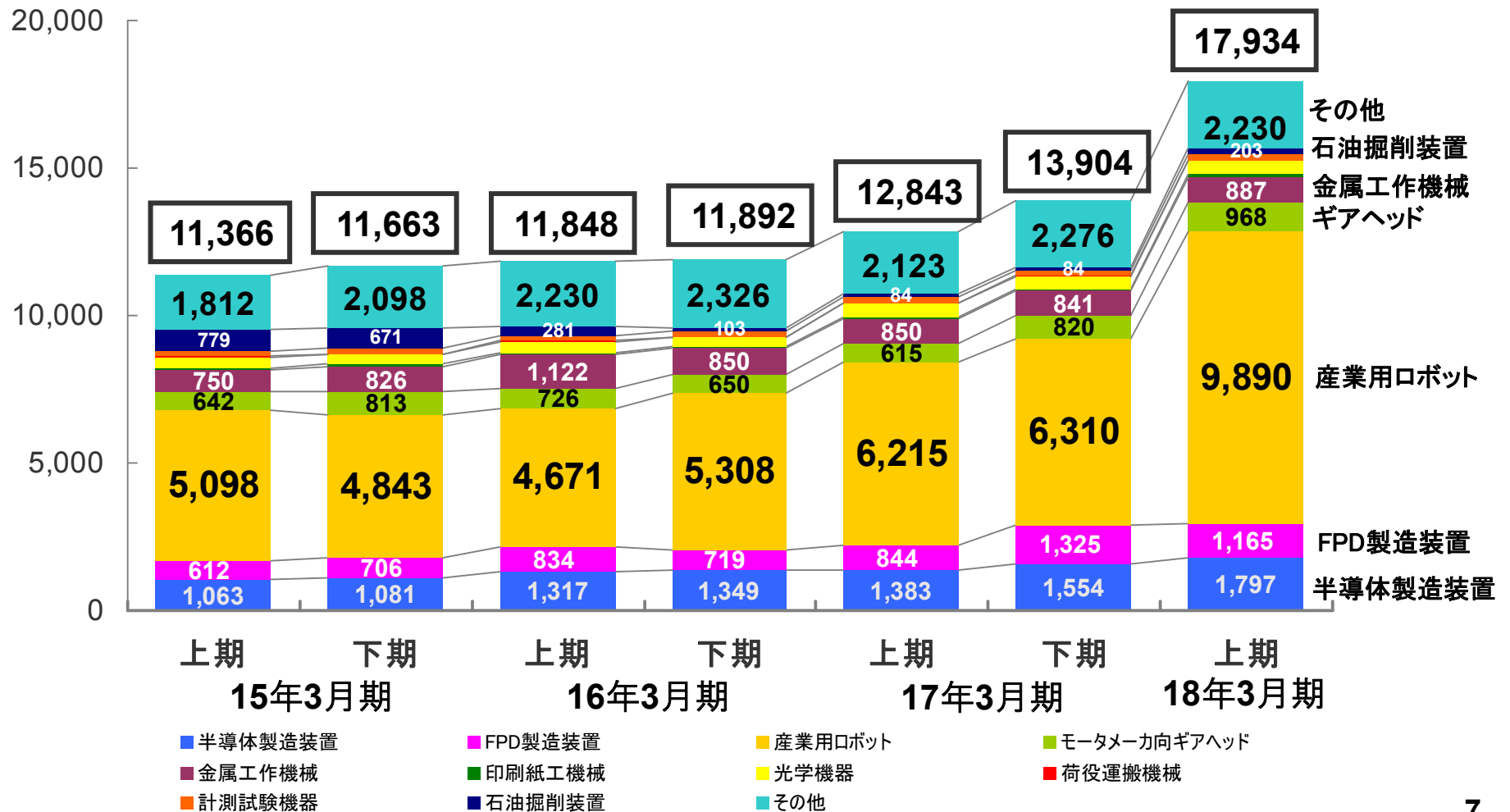
単位:百万円

	17年3月期第2四半期累計		18年3月期第2四半期累計		対前年同期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	12,843	100.0	17,934	100.0	5,091	39.7
売上総利益	5,365	41.8	7,659	42.7	2,294	42.8
営業利益	3,180	24.8	5,135	28.6	1,954	61.5
経常利益	3,521	27.4	5,243	29.2	1,721	48.9
四半期純利益	2,486	19.4	3,628	20.2	1,141	45.9
EPS (円)	27.15		39.61		12.46	45.9
設備投資額	1,418		2,077		658	46.4
減価償却費	526		708		182	34.7
研究開発費	657		674		17	2.7

※1 設備投資額は、有形及び無形固定資産取得額です。

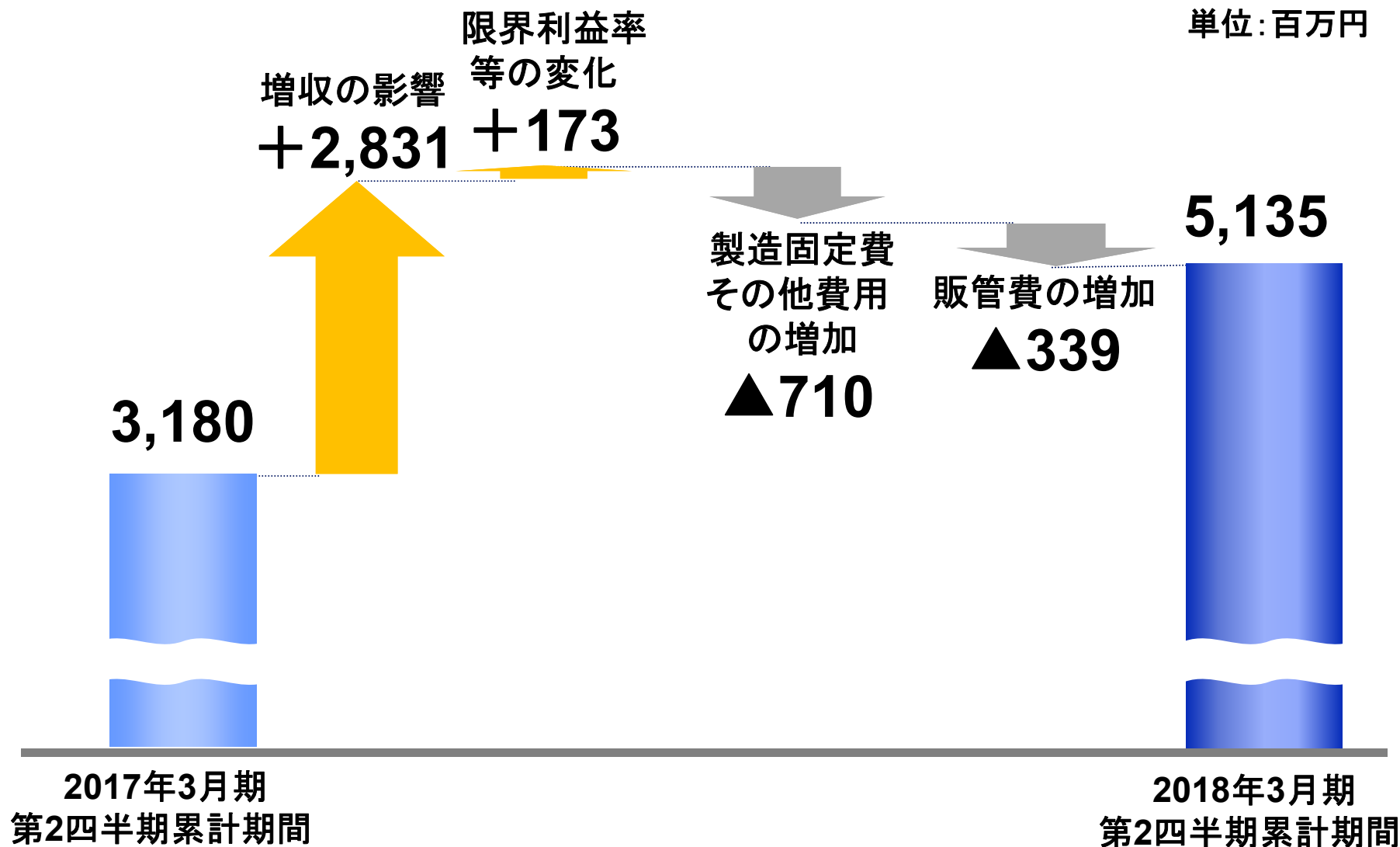
単体用途別売上高

単位:百万円



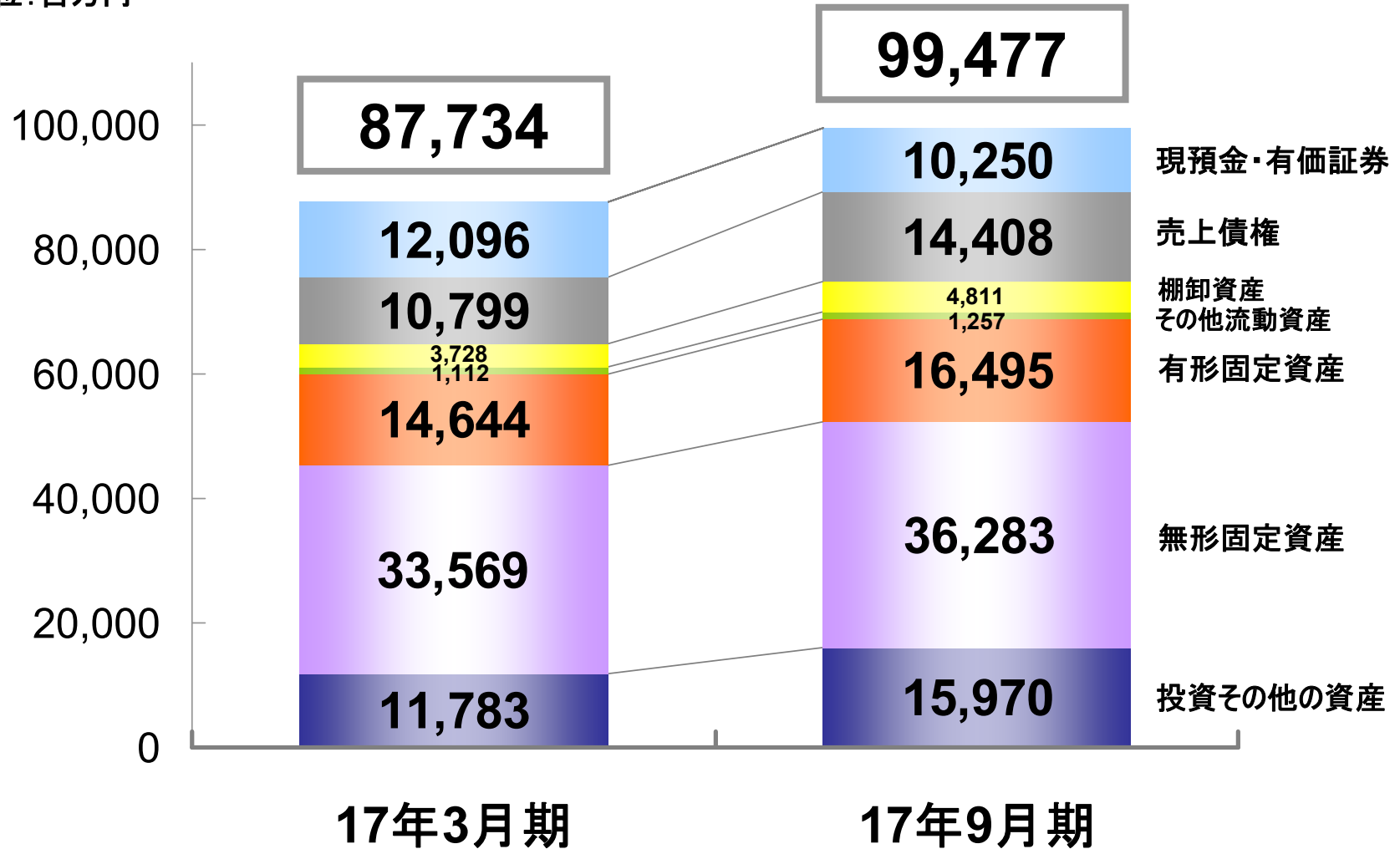
第2四半期累計期間単体営業利益 前第2四半期累計期間比の増減要因

単位：百万円



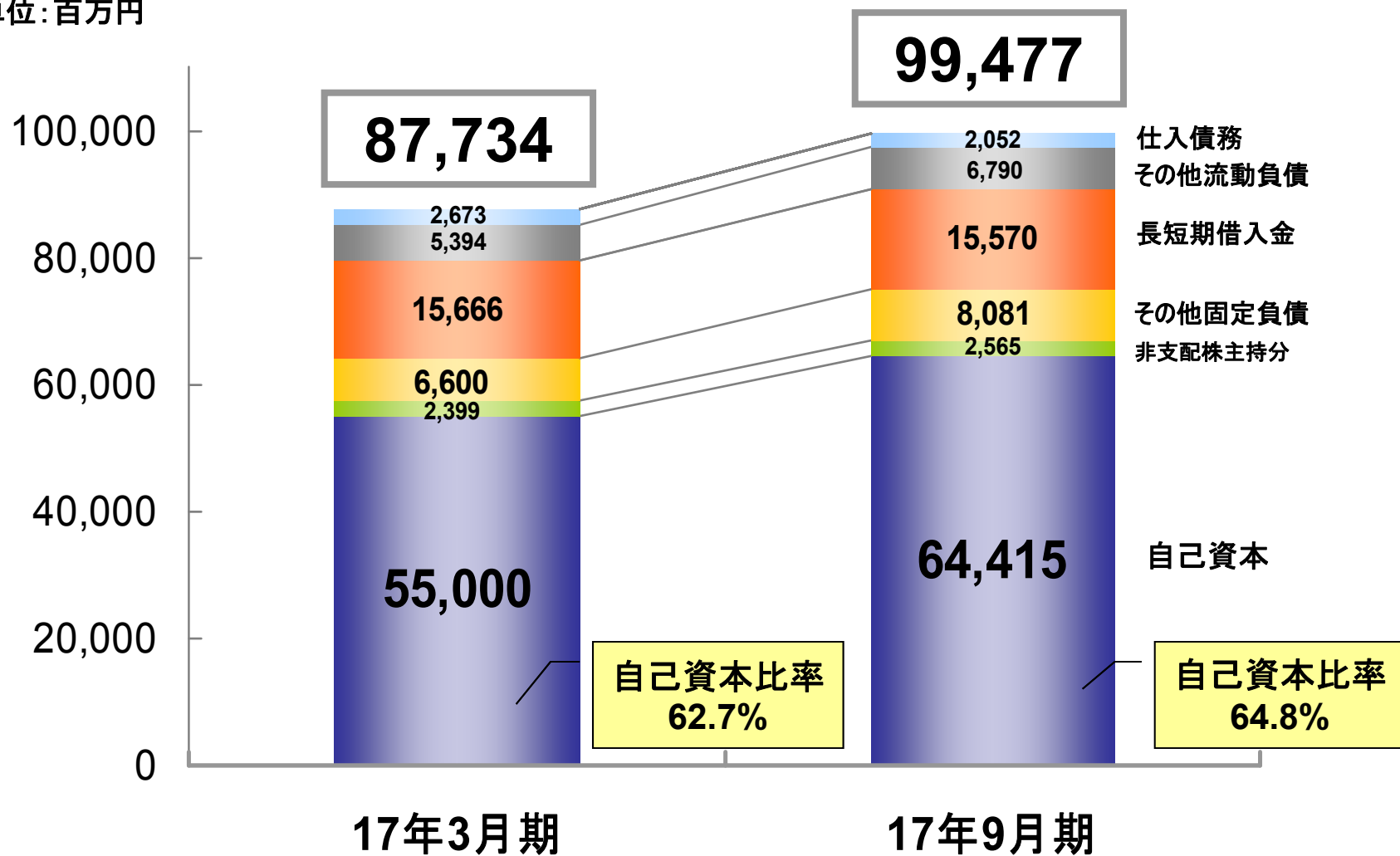
連結資産の状況

単位:百万円



連結負債純資産の状況

単位:百万円



連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円	17年3月期 第2四半期累計	18年3月期 第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,382	1,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,033	▲1,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲991	▲1,037
換算差額	▲400	▲35
現金及び現金同等物の増(▲減)額	957	▲1,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,396	8,102



今期業績の予想

通期 連結業績予想の修正

【対期初予想比】

単位:百万円

	期初予想 (5/12開示)		修正予想 (11/9開示)		対期初予想比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	49,500	100.0	53,000	100.0	3,500	7.1
営業利益	12,000	24.2	13,000	24.5	1,000	8.3
経常利益	12,000	24.2	12,800	24.2	800	6.7
当期純利益	7,300	14.7	7,800	14.7	500	6.8

※18年3月期(予想)3Q以降の前提為替レート: 1US\$ = ¥110.00 1€ = ¥125.00 1元 = ¥16.00
 ※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

通期 単体業績予想の修正

【対期初予想比】

単位:百万円

	期初予想 (5/12開示)		修正予想 (11/9開示)		対期初予想比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	36,000	100.0	38,000	100.0	2,000	5.6
営業利益	9,300	25.8	10,400	27.4	1,100	11.8
経常利益	9,300	25.8	10,500	27.6	1,200	12.9
当期純利益	6,500	18.1	7,300	19.2	800	12.3

※18年3月期(予想)3Q以降の前提為替レート: 1US\$ = ¥110.00 1€ = ¥125.00 1元 = ¥16.00

2018年3月期 連結業績予想

単位:百万円

	17年3月期		18年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	30,069	100.0	53,000	100.0	22,930	76.3
営業利益	7,813	26.0	13,000	24.5	5,186	66.4
経常利益	7,958	26.5	12,800	24.2	4,841	60.8
当期純利益	19,732	65.6	7,800	14.7	▲11,932	▲60.5
EPS(円)	215.42	—	85.16	—	▲130.27	▲60.5
設備投資額	4,576	—	9,500	—	4,923	107.6
減価償却費	1,774	—	2,850	—	2,850	60.6
研究開発費	1,383	—	1,650	—	1,650	19.3

※18年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥110.00 1€ = ¥125.00 1元 = ¥16.00

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

2018年3月期 主要グループ会社の業績予想

単位:百万円

	出資比率	売上高		当期純利益	
		金額	前期比 (%)	金額	前期比 (%)
	—	38,000	42.1	7,300	40.2
※2 ※5	100% (51%)	5,400	18.0	265	9.2
	100%	2,700	13.6	200	40.8
※3	100%	5,000	121.5	280	—
※4 ※6	74.7%	13,700	34.2	2,250	111.4

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

※2 為替レート 2016/12期:1US\$ =108.84円 2017/12期予想:1US\$ =110.00円

※3 為替レート 2016/12期:1元 =16.37円 2017/12期予想:1元 =16.00円

※4 為替レート 2016/12期:1€ = 120.33円 2017/12期予想:1€ =125.00円

※5 米国子会社(連結)の当期純利益は、少数株主利益控除後の金額です。

※6 ハーモニック・ドライブ・アーゲーは連結決算の金額です。

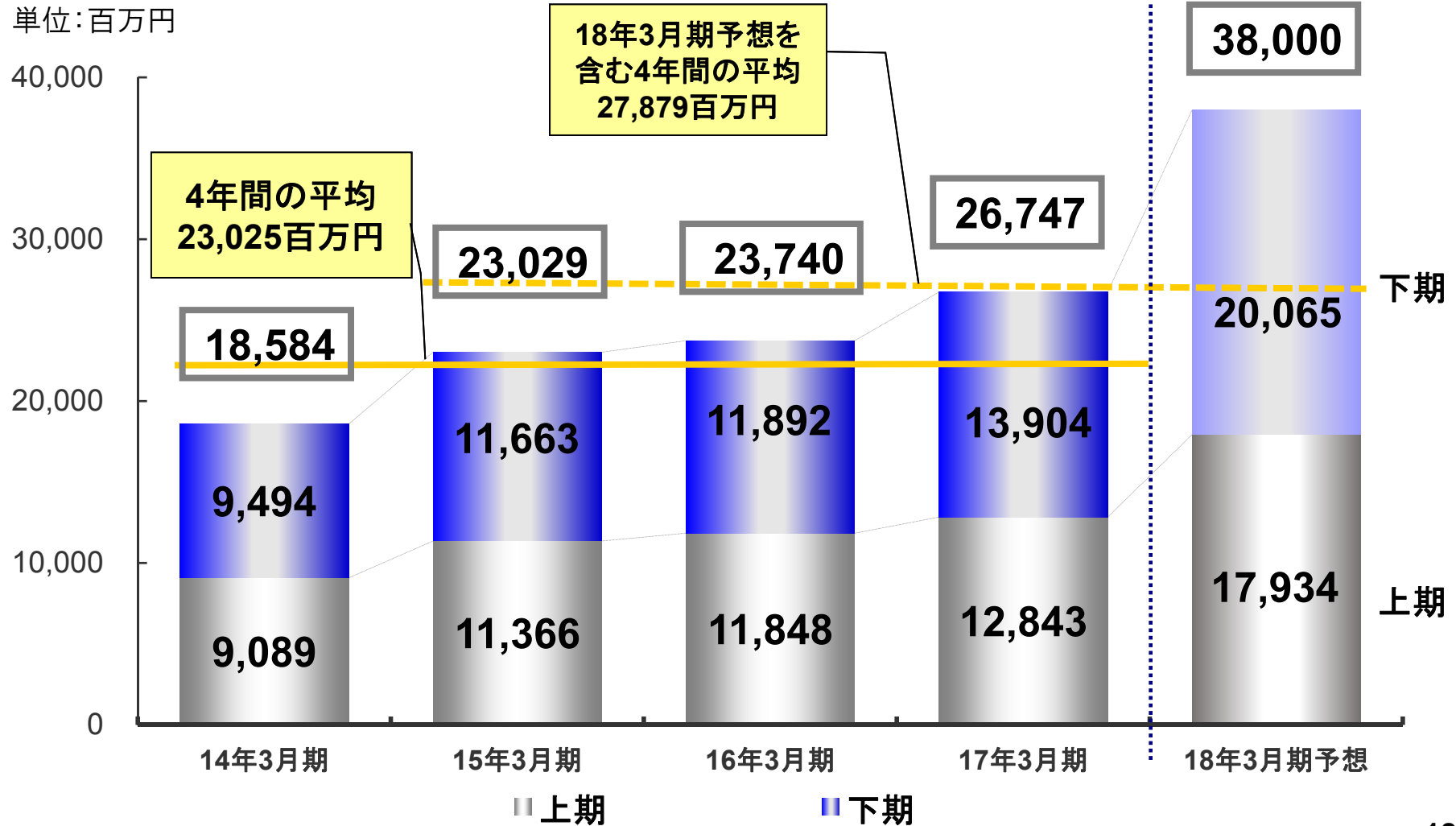
2018年3月期 単体業績予想

単位:百万円

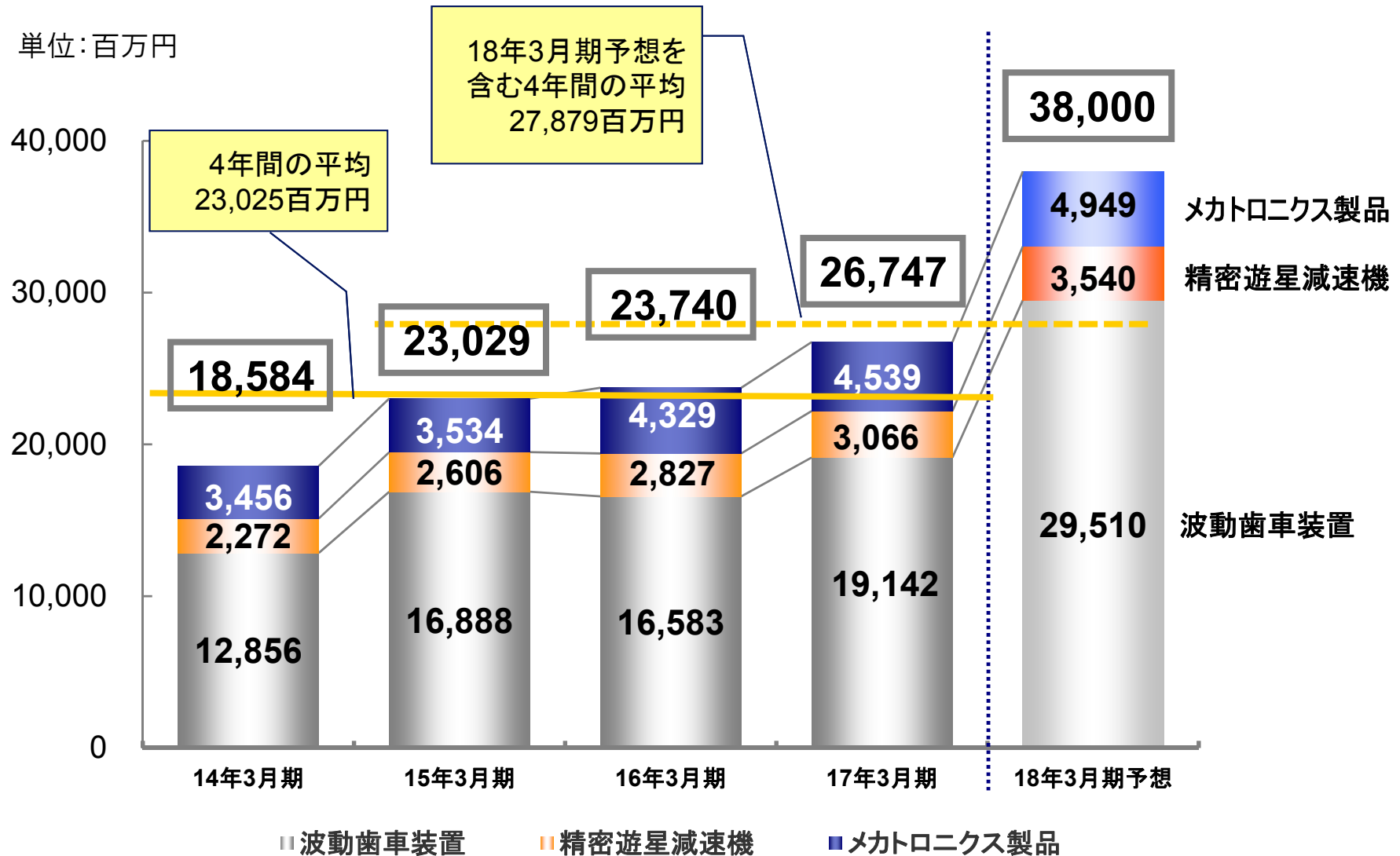
	17年3月期		18年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	26,747	100.0	38,000	100.0	11,252	42.1
営業利益	6,568	24.6	10,400	27.4	3,831	58.3
経常利益	7,233	27.0	10,500	27.6	3,266	45.2
当期純利益	5,206	19.5	7,300	19.2	2,093	40.2
EPS (円)	56.85	—	79.70	—	22.85	40.2
設備投資額	3,453	—	7,000	—	3,546	102.7
減価償却費	1,181	—	1,700	—	518	43.8
研究開発費	1,355	—	1,550	—	194	14.4

※18年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥110.00 1€ = ¥125.00 1元 = ¥16.00

単体売上高の推移

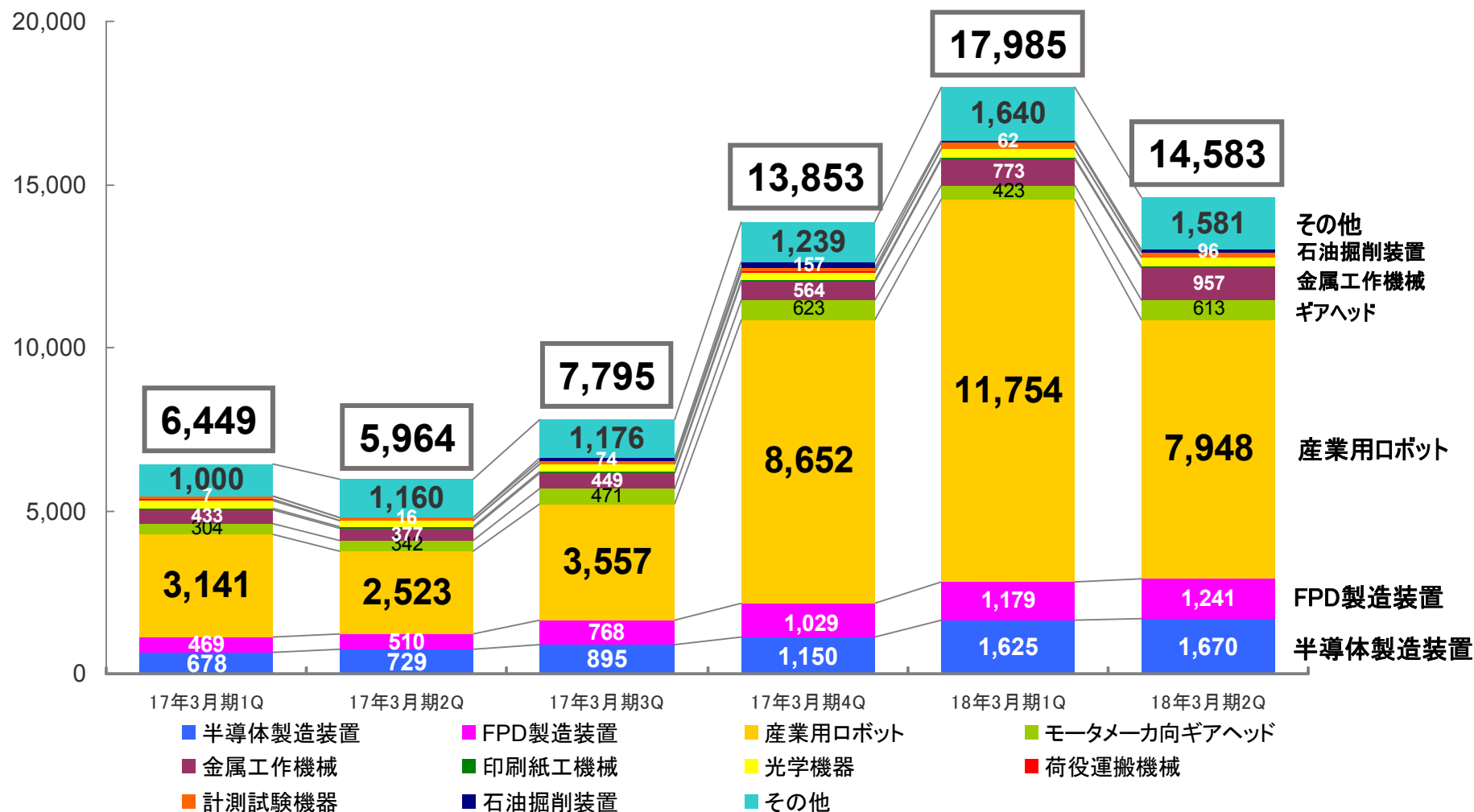


単体製品群別売上高の推移



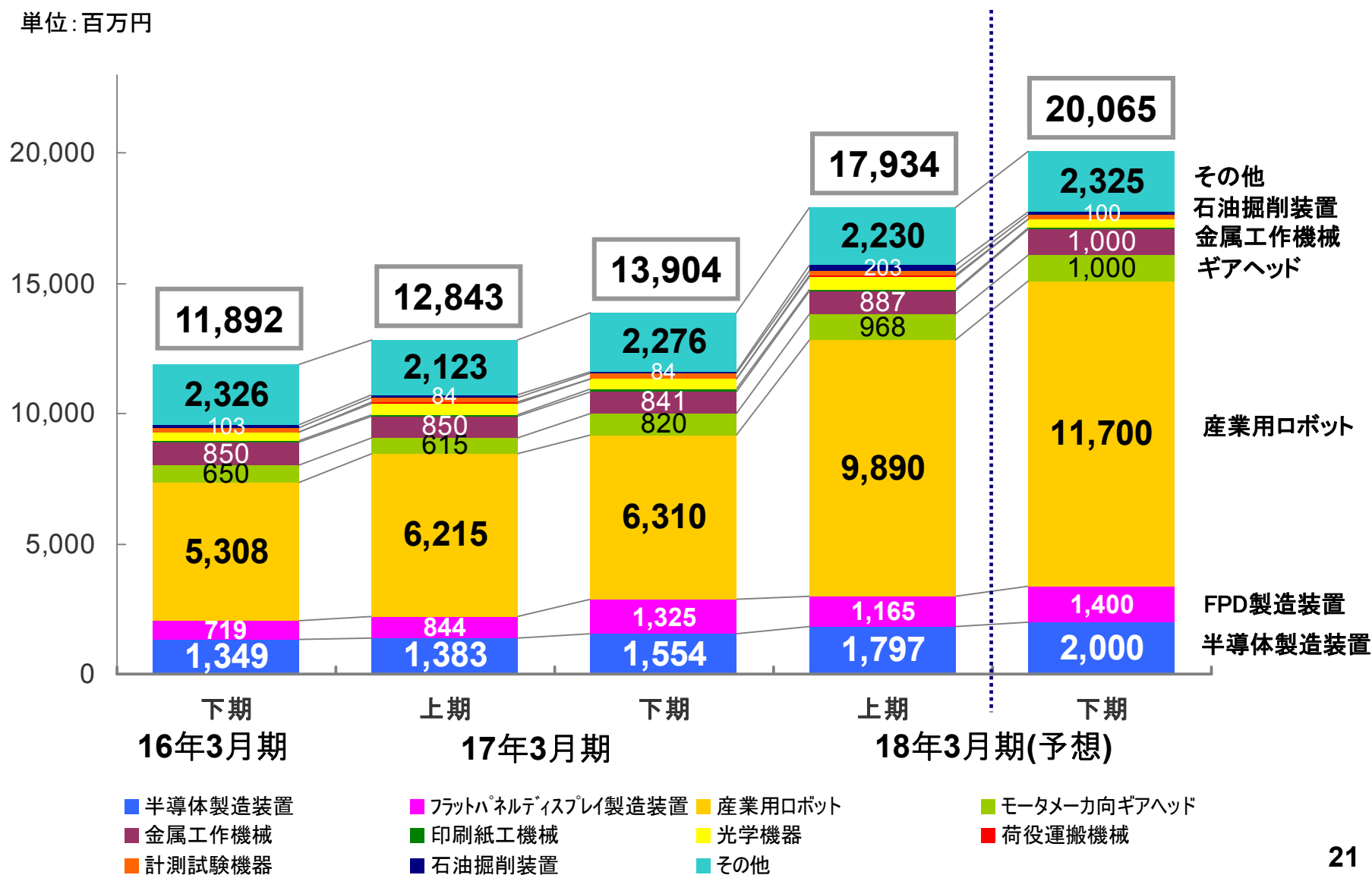
単体用途別「受注高」【四半期】

単位:百万円



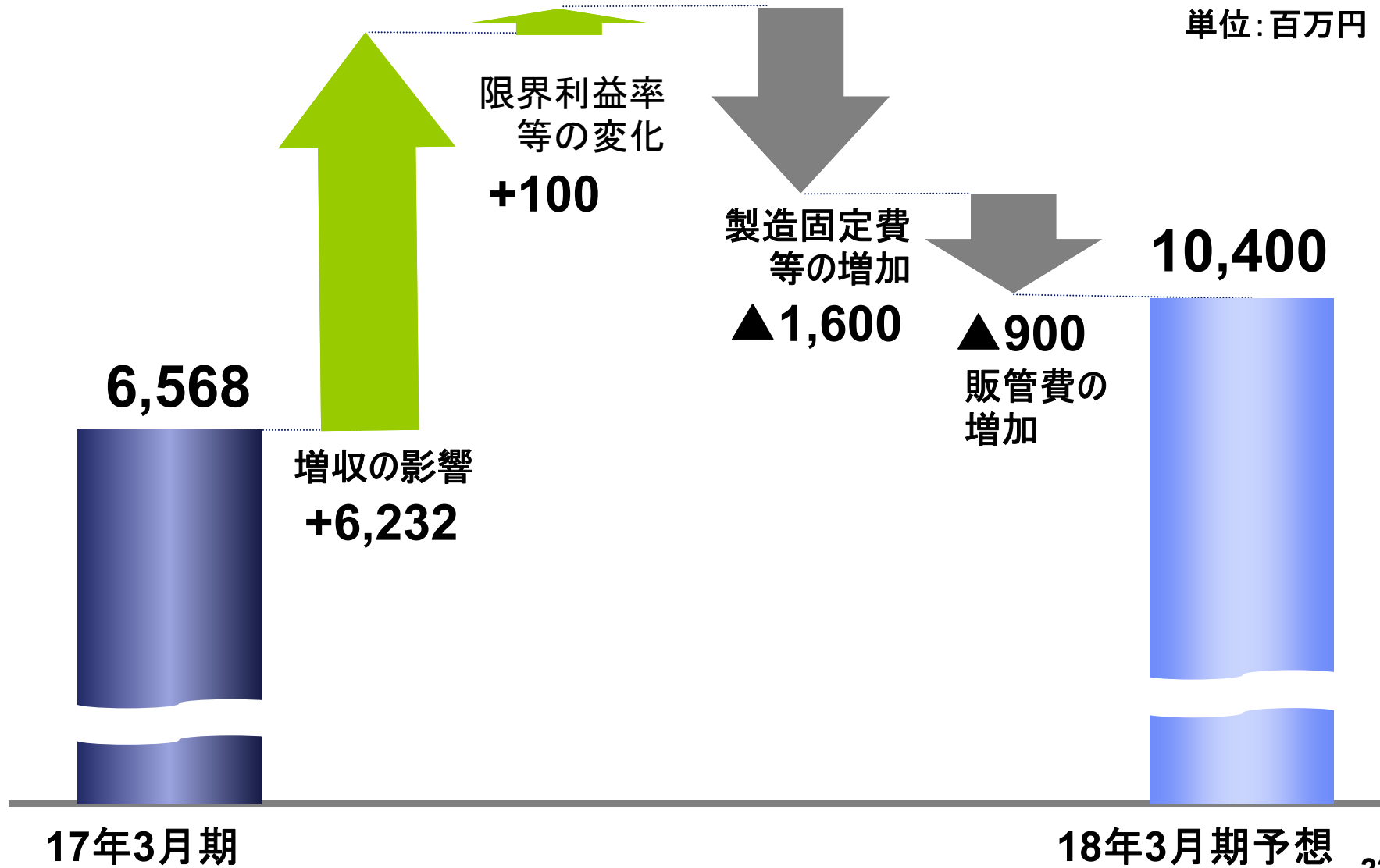
単体用途別「売上高」【下期予想の前提】

単位:百万円



2018年3月期予想 単体営業利益 対前期比増減要因

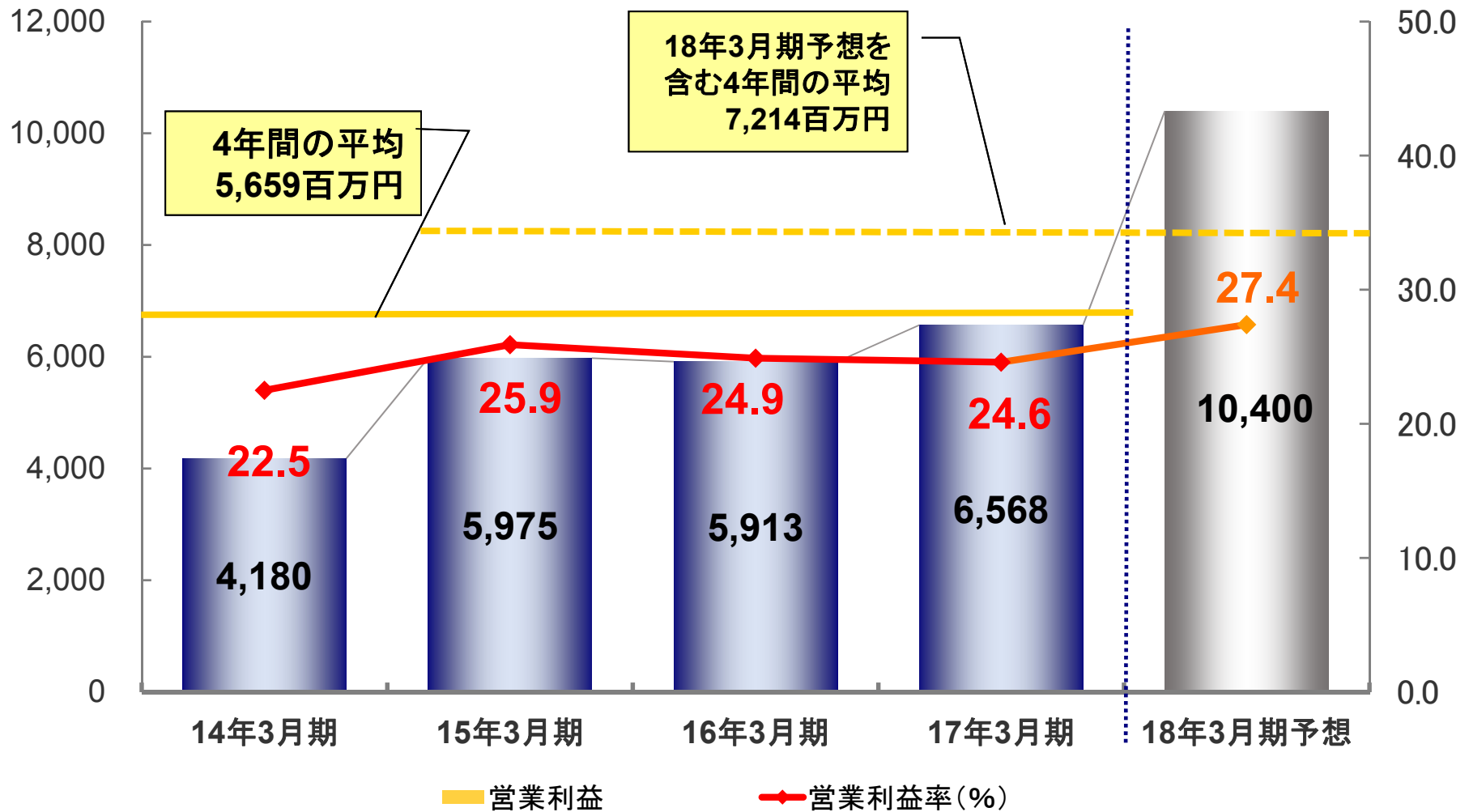
単位:百万円



単体営業利益の推移

単位:百万円

単位:%

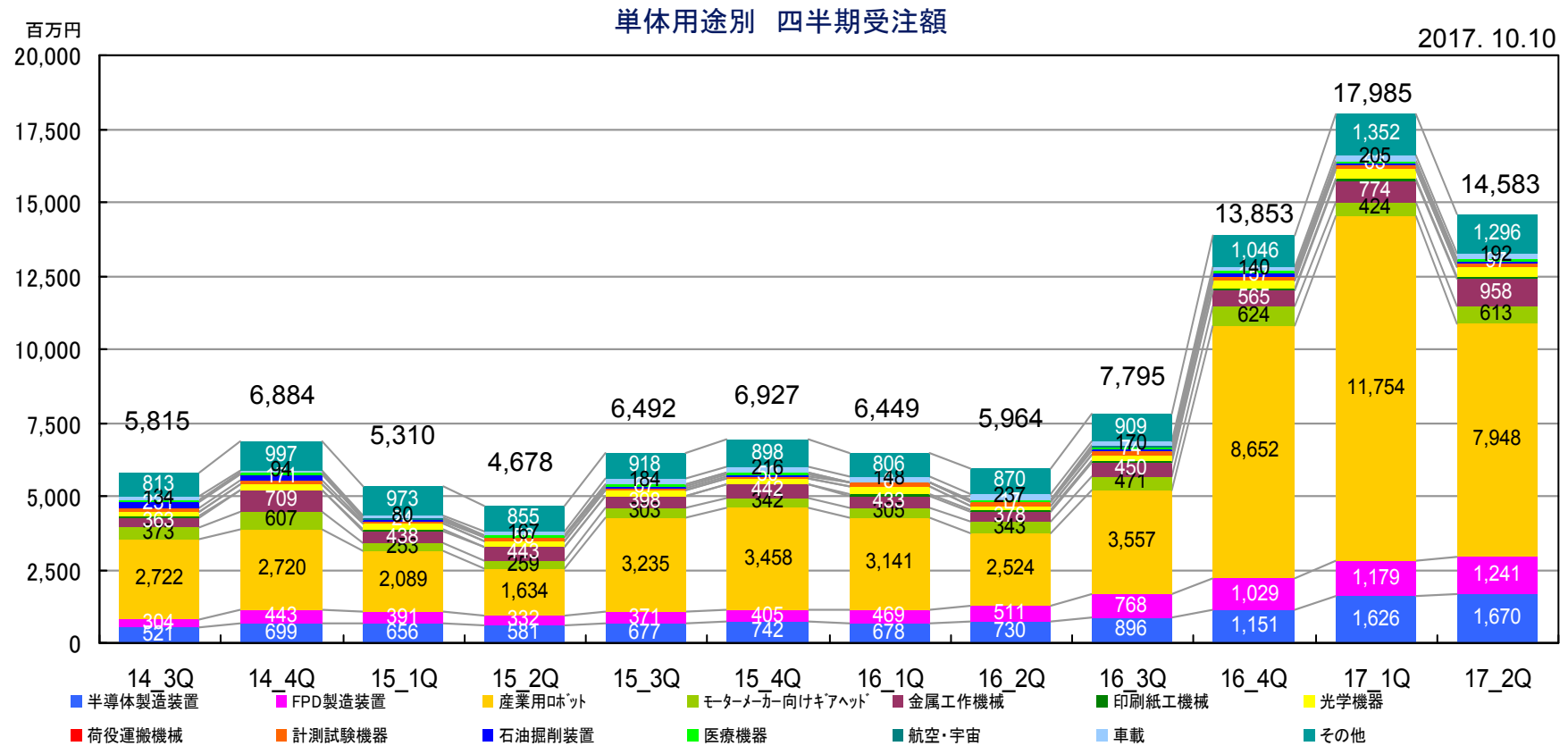


The page features several decorative, hand-drawn style blue swirls that frame the central text. One swirl starts from the top left and curves towards the center. Another starts from the middle left and curves around the text. A third starts from the bottom right and curves upwards. A fourth starts from the bottom right and curves around the text. The text '今後の展望' is centered within a light blue circular glow.

今後の展望

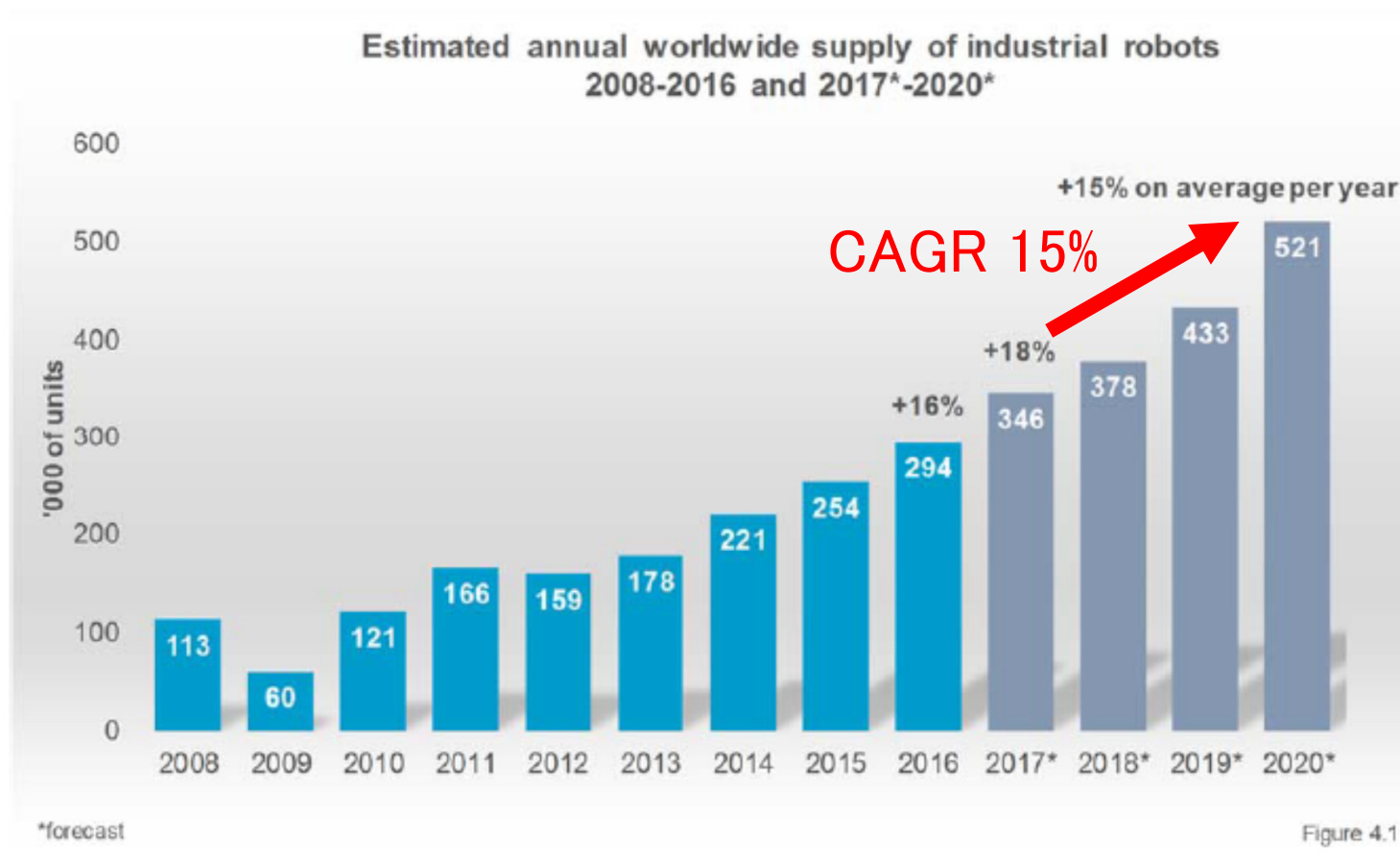
1. 最近の受注動向

2017年1月以降 急激な受注増



2. 市場動向-①

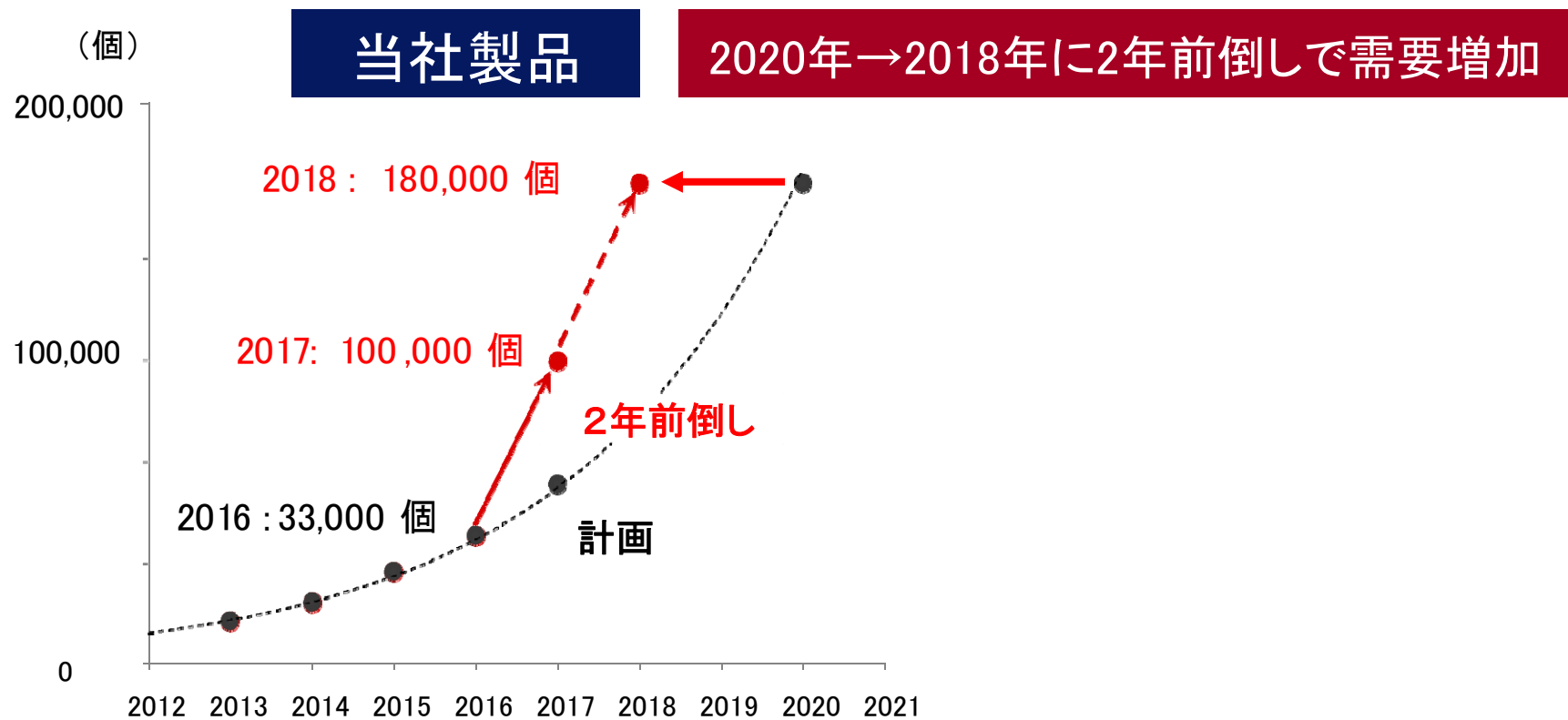
産業用ロボットは2018年以降も年率15%で市場が拡大



出所: IFR Report2017

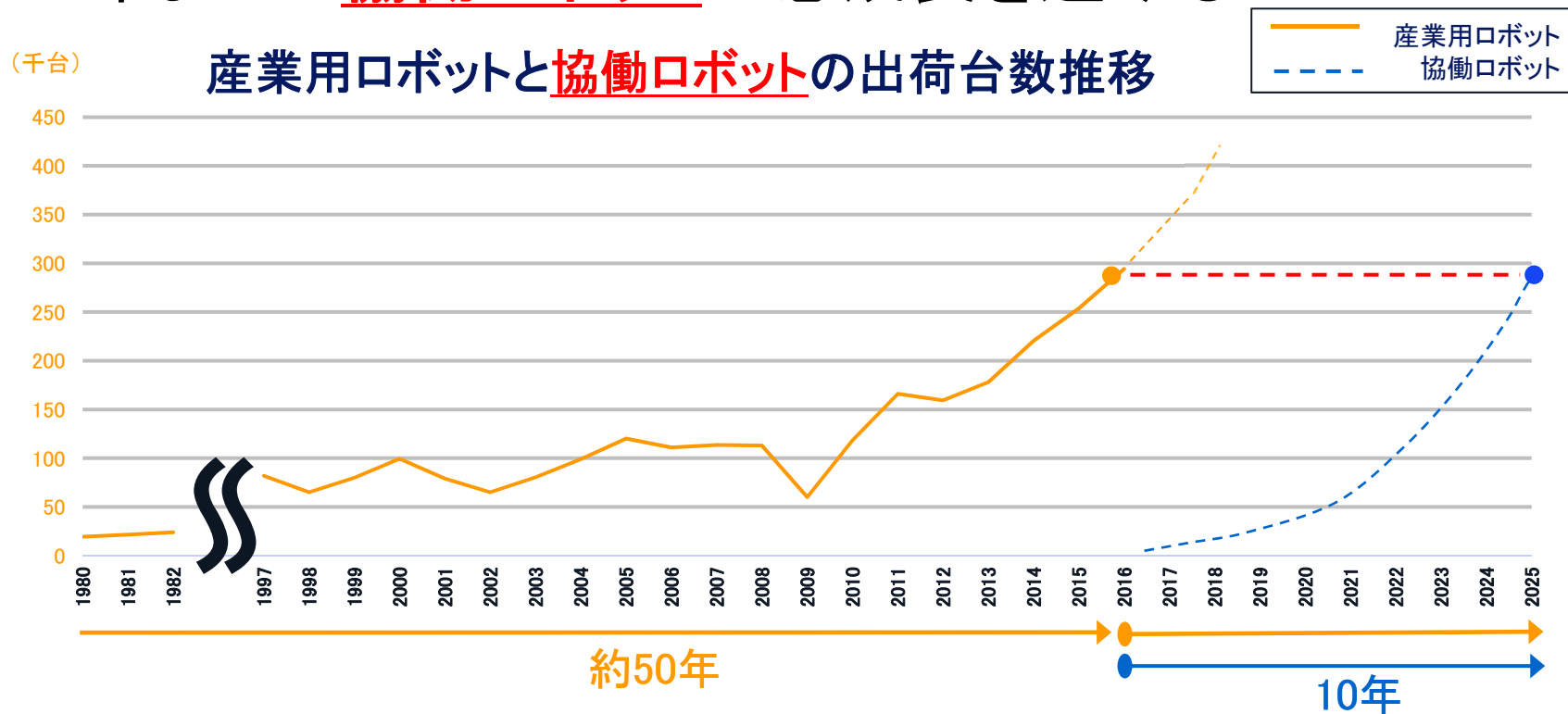
2. 市場動向-②

一大手ロボットメーカーの需要予測



2. 市場動向-③

2025年までに協働ロボットは急成長を遂げる



※ IFR Reportと1992年以前は日本ロボット工業会の資料に基づき当社作成

産業用ロボットが約50年かかった成長に対し、協働ロボットはわずか10年

3. 主要用途動向-①

産業用ロボット

- スマートフォンの生産需要拡大
- 省人化ニーズの世界的な高まり

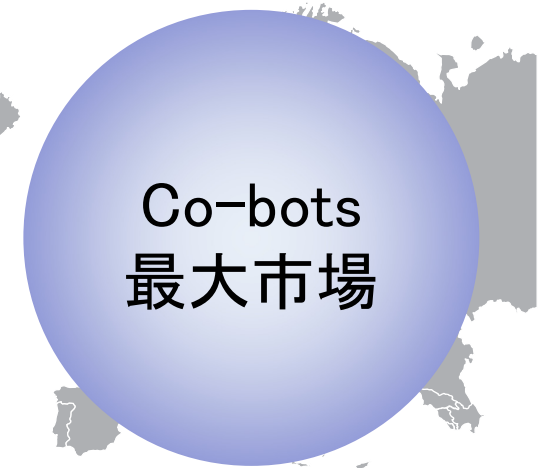
➡ ロボットメーカーの増産投資



出所: 日本ロボット工業会

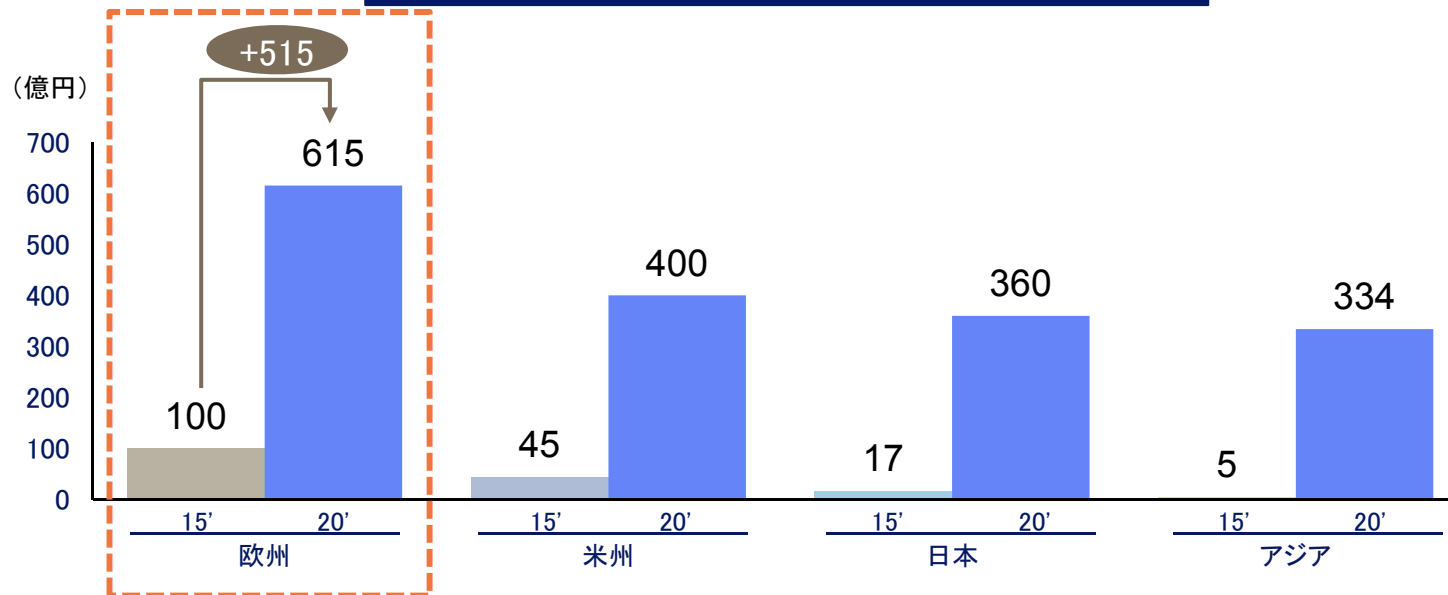
3. 主要用途動向-②

協働ロボット



- 製造業、サービス業で広がる採用事例
- さらなる成長の牽引役へ

Co-bots市場の成長見通し

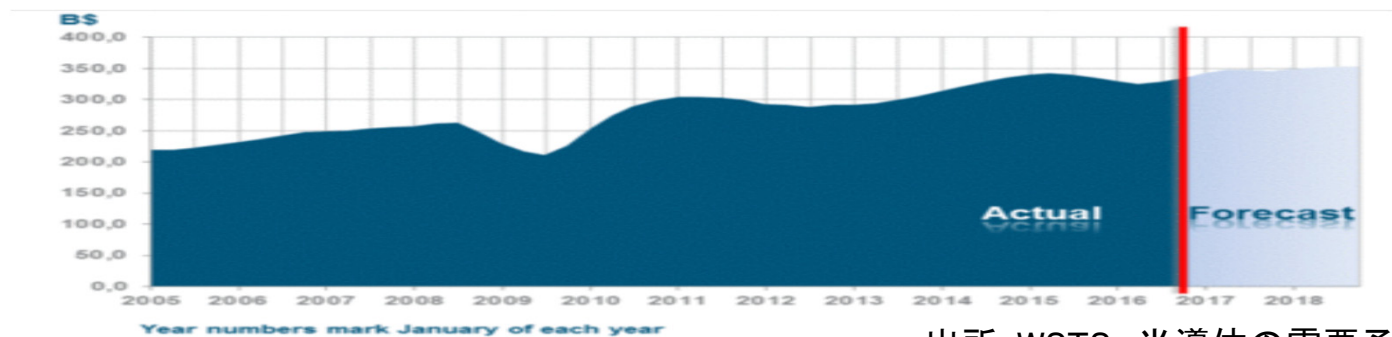


出所: 富士経済「ワールドワイドロボット市場の現状と将来展望」(2016年)に基づく

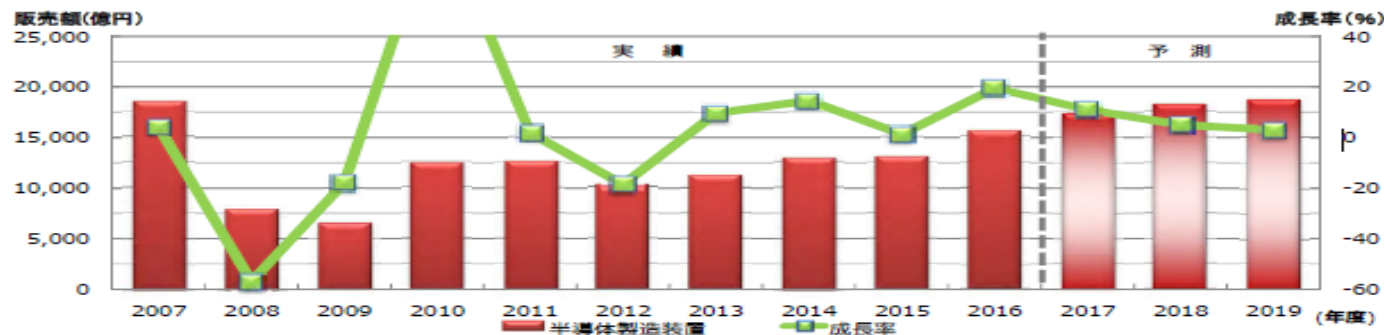
3. 主要用途動向-③

半導体製造装置

- 大容量化や高品質による「積層、微細化の設備投資」
- 人工知能(AI)、仮想現実(VR)に使用する半導体の需要増加
- 5G関連投資が本格化
- データ爆発によるサーバー需要の増加、HDからSSDへ



出所:WSTS 半導体の需要予測



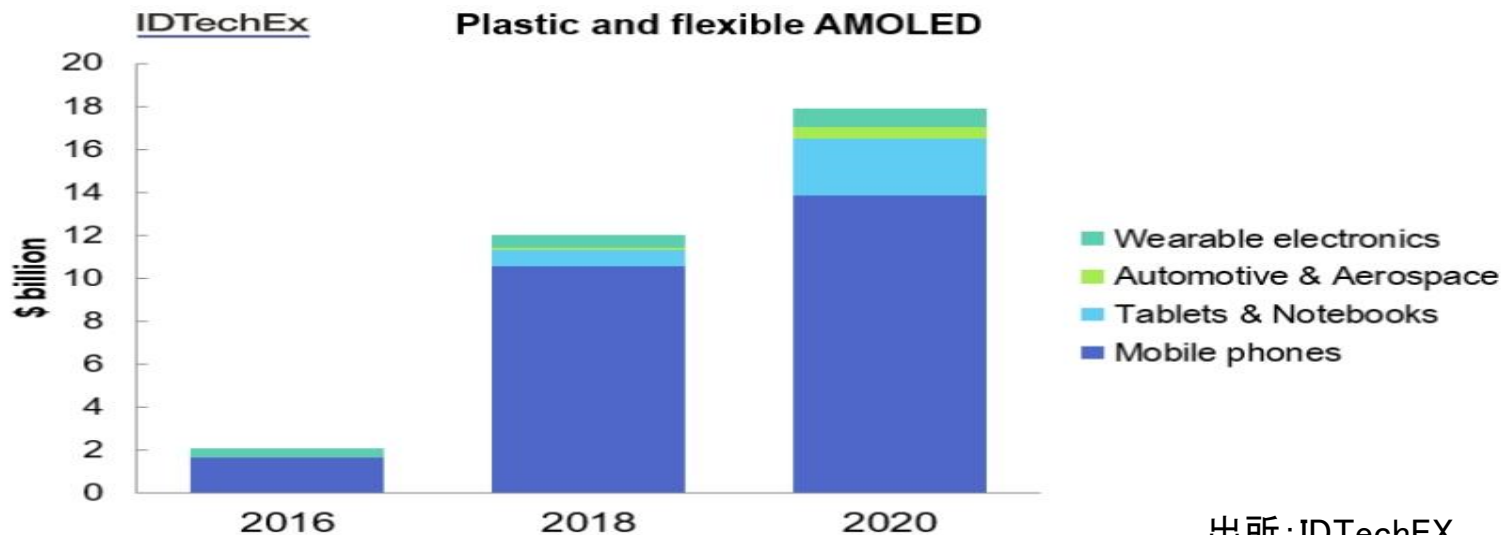
出所:日本半導体製造装置協会 需要予測

3. 主要用途動向-④

液晶・有機EL製造装置

- スマートフォンの最新機種に有機ELディスプレイ採用
- 中国大手スマートフォンメーカーも最新機種に有機ELパネル採用
- 日韓の大手パネルメーカーに加え、中国勢も有機ELパネル工場に積極投資
- 日系パネルメーカー印刷方式で量産化

有機ELディスプレイの市場予測



出所:IDTechEX

4. 生産能力増強-①

波動歯車装置の生産能力増強・工場用地の取得

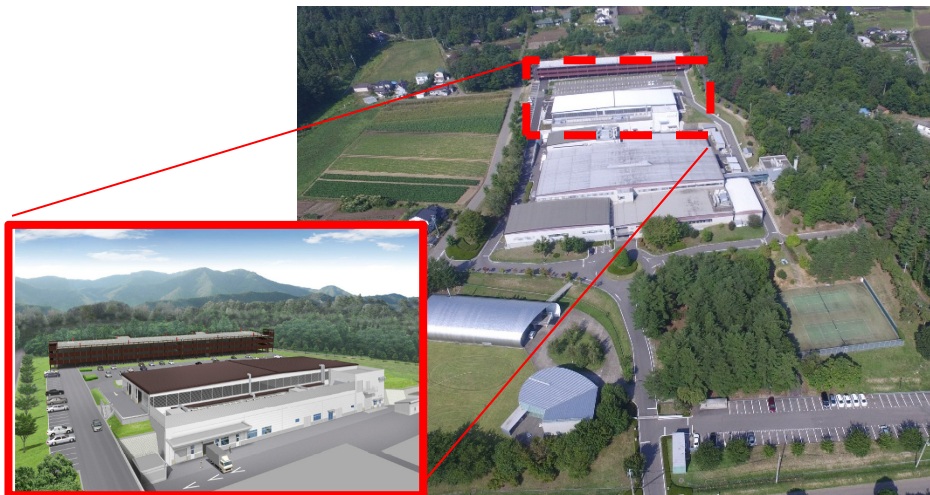
- 穂高第1工場のライン増設
- 既存の能力の拡充(2直制、生産性改善)
- 穂高第2工場用地を取得(穂高第1工場と並ぶ製造拠点へ)

穂高第1工場
(長野県安曇野市)

工場敷地
約20,000坪

穂高第2工場
(長野県安曇野市)

工場敷地
約15,000坪



出所: Google Earth

- ・新ライン 機械設備: 15億円
- ・2017年3月から増産中
(5→8.5万台+/月)

- ・順次設備投資
- ・2021年3月までに月産10万台 33

4. 生産能力増強② 基幹部品(クロスローラーベアリング)の生産能力増強・新工場建設

新工場予想図 (長野県松本市)



- ・新工場棟の建設工事開始(2017年12月予定)
- ・クロスローラーベアリング 2023年3月までに**月産15万台体制**へ

4. 生産能力増強-③ HDLLC/H DAG 工場候補地



アメリカ子会社
【ハーモニック・ドライブ・エルエルシー】
ビバリー市(近隣)に
工場用地を取得予定
(新工場構想図)

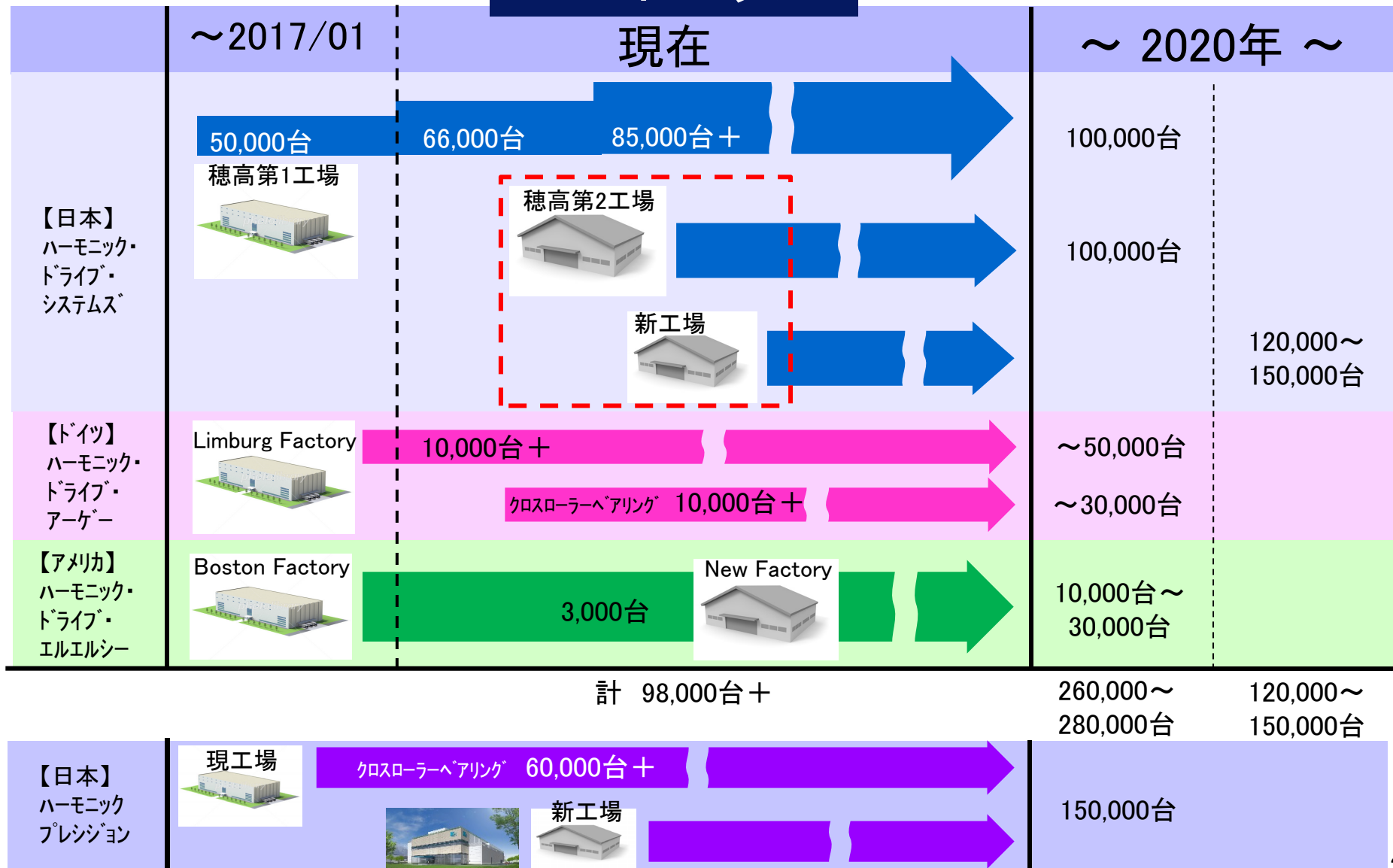


ドイツ子会社
【ハーモニック・ドライブ・アーゲー】
既存工場隣接地に拡張可能

4. 生産能力増強-④

ロードマップ

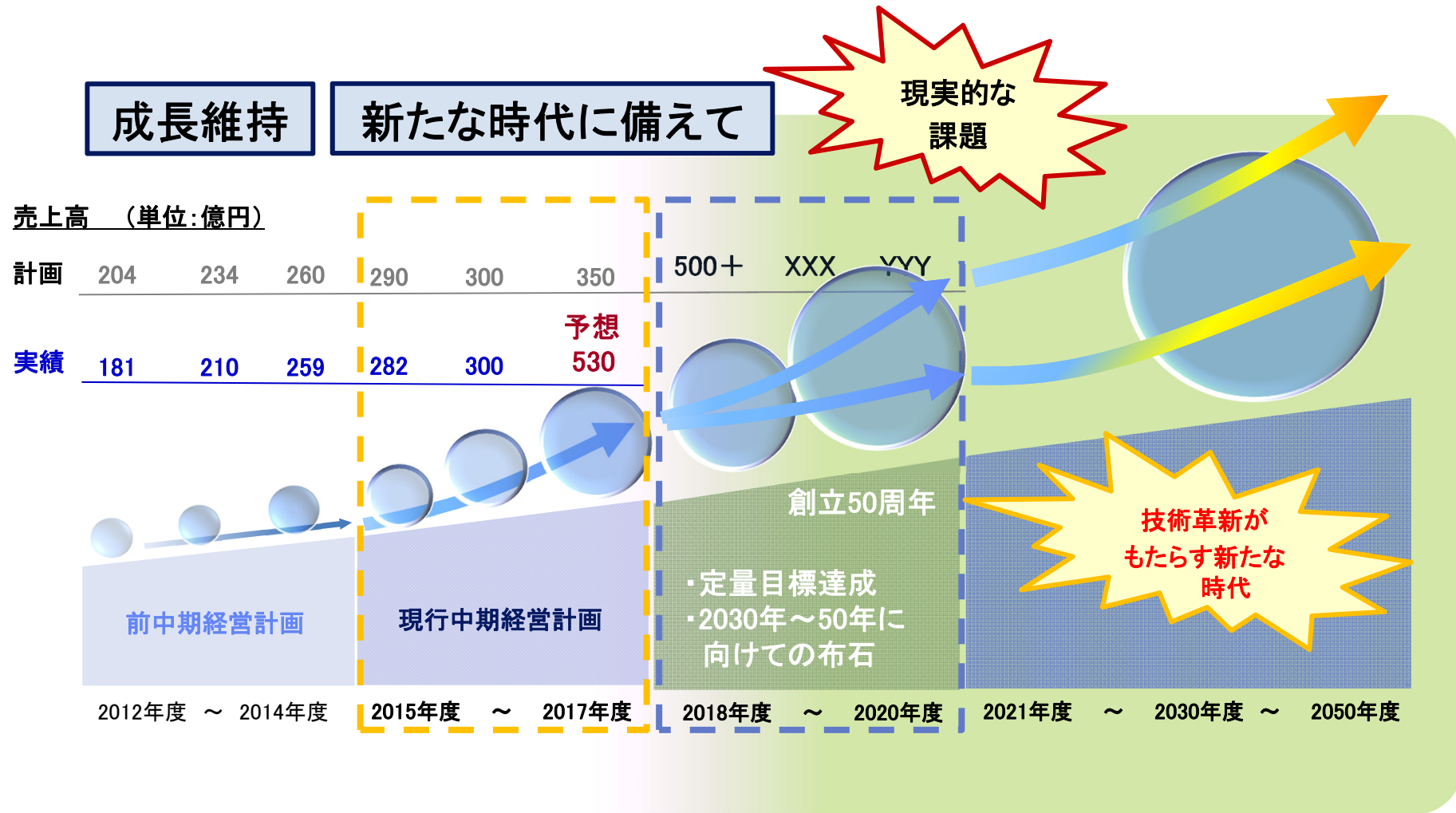
(数値は月産台数)



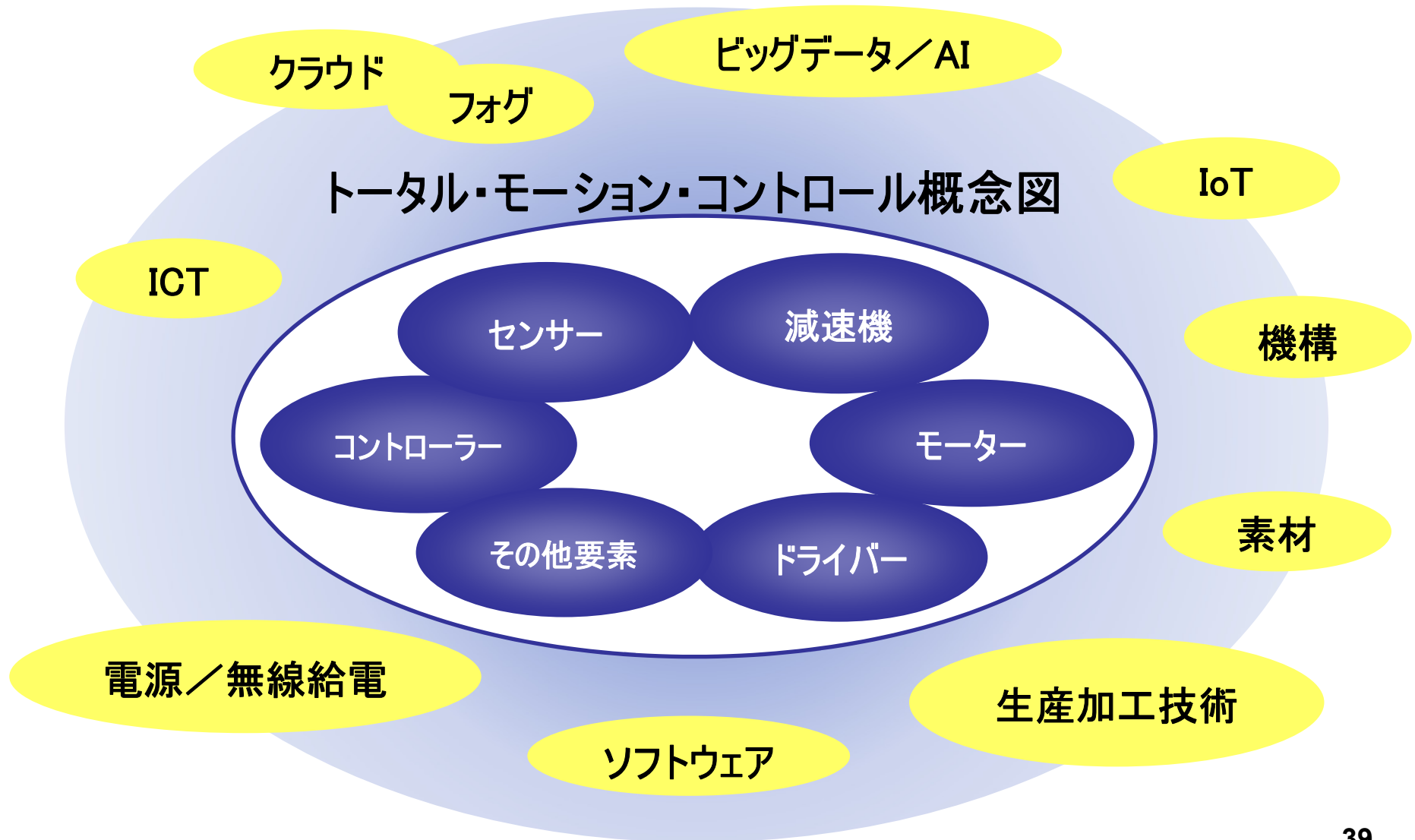
5. 想定していた課題が現実

- ◇ 生産能力拡大
 - ← [穂高第2工場](#)
- ◆ 現在は短期的好況だが、一定の変動要素を常に含む
 - ⇒ 半導体、FPD然り、産業用ロボットにおいても
- ◆ 本気度の高い競合の出現
 - ← [競合が長野県に進出](#)
 - ← [中国メーカーの躍進](#)
- ◆ 永年の信頼、高品質といった定性論だけでは済まぬ
- ◆ 規模の拡大だけでこれらのリスクを吸収できるか
- ◇ 用途の多様化不可欠（医療機器、宇宙、食品、薬品他）
たゆまぬ研究開発 新機構、新素材、新生産加工技術

6. 長期ビジョン(次期中期経営計画)



7. 弊社を取り巻く環境の変化



お問い合わせ

掲載内容、投資家情報全般についてのお問い合わせは

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 経営企画・財務本部

〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3 いちご大森ビル7階

TEL.03-5471-7810 9:00~17:30 (土曜、日曜、祝日、弊社指定休日を除く)

E-mail : ir@hds.co.jp URL <https://www.hds.co.jp/>

本資料に記載されている業績目標等の数値は、いずれも当社グループが資料作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況などの不確実な要因の影響を受けます。
従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。